

第39回北信越国民体育大会バレーボール競技

成年男子・少年男子が共に1位 北信越国体2種別突破！

【専務理事 竹淵光雄】

8月24日（金）～26日（日）、新潟県の小千谷市総合体育館において、第39回北信越国民体育大会が開催されました。尚、今年の国体は福井県開催のため、福井を除く4県での出場権争いでした。



初日、昨年、初戦で石川県に0-3の苦杯を喫した成年男子（VC長野トライデンツ）は、新潟県を3-0で破って決勝戦に進出。2日目、その決勝でも、石川県をフルセットで下して勝ち上がって来た富山県を危なげなく3-0で退け、昨年の雪辱を果たして本国体への出場権を手中にしました。

一方、成年女子（ルートインホテルズ）は、初戦でKUROBEアクアフェアリーズ主体の富山県に0-3で完敗。今年も厚い壁に跳ね返されました。

リーグ戦で行われた少年は、2県が国体出場権を得られるということで、女子にも大きなチャンスがありましたが、初日に新潟県・石川県に何れも0-2で敗れ、2日目の富山県には2-0で

勝ったものの、石川県を除く3県が1勝2敗で並んだ争いにセット率で3位となり、今年も出場はなりませんでした。

成年男子と同じく昨年、苦杯をなめた男子（松本国際高校）は、富山県との第2セットこそ31-29と苦戦しましたが、最終的には失セット0で1位となり、本国体の出場権を得ました。

また開始式終了後、北信越バレーボール連盟表彰があり、長野県からは実業団バレーボール連盟理事長：村上里志氏、ビーチバレーボール連盟会長：加藤正明氏のお二人が表彰されました。長年のご尽力に心から感謝申し上げます。



「北信越国民体育大会優勝！！」

【VC長野トライデンツ監督 笹川星哉】

日頃よりVC長野トライデンツを応援していただき、誠にありがとうございます。8/24～8/26に新潟県小千谷市総合体育館にて第39回北信越国民体育大会が行われました。

私たちVC長野トライデンツは長野県として戦い無事に優勝することができました。昨年もこの大会に出場しましたが、初戦で敗退して本国体出場を逃す形になってしまい、チームとしてもショックを受けましたし、長野県に対しても、本当に申し訳ない結果を残してしまいました。その分今大会は、しっかりと本国体の出場権を獲得する強い意志を持って挑めたことは、去年の反省を活かしたと感じています。

Vのリーグ戦のことを考えると、この時期はまだまだフィジカルなどの強化期間でチームとして不安定なところもあり、多少不安な面もありましたが、選手達もV1の誇りとプライドを持ったパフォーマンスをみせてくれました。10/5～8に開かれる福井国体に向け、またトレーニングを積み良い結果を生み出せるよう「昇心」していきます！ 沢山の熱いご声援、本当にありがとうございました！



「北信越国体突破を果たして」～感想と今後に向けて～ 【少年男子長野選抜主将 瀧 直理】

新潟県小千谷市で開催された今年の北信越国体において、私たち少年男子は2年ぶりに優勝し、10月の福井国体への出場権を獲得することができました。

昨年は力がありながらも、想定外の結果となって本国体への出場が叶わなかったため「今年は絶対に昨年の二の舞を演じることはできない」「何としても出場権獲得を果たさねば…」という強い気持ちと覚悟をもって臨んだ今大会でした。

チーム名は長野選抜となりましたが、12名全員を松本国際高校の選手で固めさせて頂き、インターハイ直後から約2週間に及ぶ県外強豪校との練習試合合宿を重ねて、心身ともに充実した状態でこの大会を迎えることができ、その結果、3戦全勝の完全優勝で1位通過を果たすことができました。県名を背負って戦うこの大会は他の大会とは大きく異なり、責任重大でありプレッシャーも大きく、勝った瞬間は喜びよりも安堵の方が強くて、正直なところホッとした気持ちでした。

10月に迎える本国体（福井しあわせ元気国体）まで残された時間は短い訳ですが、夏のインターハイでの悔しさや無念さを胸に更なる精進を重ねて、長野の代表として持てる力を遺憾なく発揮し、優勝目指して戦ってきたいと思っています。

応援のほど、よろしくお願いします。



東海大諏訪高校の渡邊晃成・関島佑斗ペアが全国準優勝！

【東海大学付属諏訪高等学校男子バレーボール部監督 宮下美保子】

8月3日（金）～6日（月）、大阪の阪南市で行われました標記大会に於きまして本校の渡邊晃成（3年）・関島佑斗（2年）のペアが準優勝という成績を収めて帰って参りました。昨年は兄と組んで出場した渡邊晃成は、今年は1学年下の関島佑斗と組んでの出場でしたが、前回のベスト8から2段階もステップアップしてくれました。御支援・御声援頂きました皆様方に、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

〔東海大学付属諏訪高等学校3年 渡邊 晃成〕



私たちは、8月3日から大阪府阪南市で行われた、全日本ビーチバレージュニア選手権大会に出場しました。昨年はチャレンジャーとしてこの大会に臨みましたが、惜しくも全国大会ベスト8に終わってしまいました。今年は優勝目指して、日々練習に取り組みました。県外の強豪校や一般の方、また大学生と練習をさせて頂きました。7月にはU-23の大会に出場し、実践も積んで大会に臨むことができました。

大会1日目の予選では、山口県と対戦して危なげなく勝利しました。2日目の決勝トーナメント、初戦の東京戦では気のゆるみが出てしまい、追いつかれる場面もありましたが、確実に得点を重ねて勝利しました。2回戦、対三重県では、昨年負けていたチームだったので、相手に不足はありませんでした。自分たちのペースで試合を運ぶことができ、雪辱を果たすと同時に昨年の記録に並んでベスト8入りを達成しました。3日目の準々決勝の大阪第2代表、準決勝の福岡県との戦いでも流れを渡すことなく、勝ち切ることができました。決勝戦の相手は、大阪第1位代表の常翔学園でした。相手の高いブロックに苦戦し、課題のスタートで乗り切れずに終始圧倒され、ここで敗れてしまいました。あともう一つのところでしたが、私たちにとっては昨年の記録を塗り替えるとともに、全国レベルの力を感じることもできる貴重な経験でした。

ビーチバレーを通じて、ペアとのコンビネーションの大切を改めて確認しました。最初はなかなか思うようには行きましたが、試合を重ねるたびに力をつけることができました。また自然相手なので、インドアとは違う対応力も必要でした。

北信越勢初の決勝進出ということで大きな一歩を踏み出すことができましたが、長野県には海がないので、練習環境が整っているとは言えません。なかなか難しいとは思いますが、これからもビーチバレーが身近なスポーツになっていくといいと思います。

最後に、私たちの練習に携わっていただいたすべての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



長野市南部の犀南地区選抜「さいなみVC」が3位入賞！

【さいなみVC監督(更北中学校長・(公財)日本中体連バレーボール競技部強化委員長) 竹村昭浩】

8月12日(日)・13日(月)、神奈川県藤沢市鵠沼海岸の常設ビーチバレーコートに於いて標記大会が行われ、長野市南部の犀南地区の中学校3校から3年生の選手を選抜して結成した「さいなみVC」(選手は下記の通り)が出場47チーム中3位に入賞することが出来ました。

《メンバー》 (主将) 石坂朋也(広徳中) 島田楓馬(川中島中) 桑原 諒(川中島中)
山崎尊也(更北中) 宮島大和(更北中) 下平太陽(更北中)



チームを結成したのは大会直前。練習したのは、大会の3日前に行った1回のみという状態で心配な面もありましたが、選手達のコミュニケーション能力が非常に高く、意思の疎通が十分に図れました。そのため、チームワーク・コンビネーションという面では他を圧倒するものがあり、これが勝利に結びついたと思われます。

試合は、一つも楽なものはありませんでした。勝った試合は、全て接戦、又は逆転勝ちでした。特に、3チームによる予選グループ戦初戦の相手であった藤枝リアン(静岡県藤枝市)は、これまで

何度この大会に出場していて、ビーチバレーを日常的に行っているメンバーでした。このチームに勝ったことで、波に乗ることができました。又、試合を重ねる毎に学習し、それを試合に生かすことができました。特に風を読むことの重要性を感じながら、一つ一つのプレーをより丁寧に行い、ミスの少ないバレーを心がけたことが、予選グループ戦を1位で抜け、決勝トーナメント1回戦・準々決勝を勝ち上がった要因だと思います。ただ、準決勝のNAGASAKI(長崎県佐世保市)には歯が立ちませんでした。このチームもビーチ専門で練習している訳ではなく、普段はインドアで行っている選手達の集まりでしたが、180名台を揃えた県選抜級のチームでした。

今回、このビーチの大会に参加してみて、中学生には次のような効果が期待できると認識できました。

1. 足腰が鍛えられる …… 砂の上では思うように動けない。そのような中でダッシュしたりジャンプしたりすることにより、間違いなく足腰が鍛えられる。選手は、「1セットやるとインドアの3セット分くらい疲れる」と言っていた。
2. プレーが丁寧になる …… 風を読みながらパスやトスをしなければならないので、一本一本に神経を遣いながら丁寧なプレーを心がけるようになる。特にオーバーハンドで相手コートにボールを返す場合、セット姿勢を確実にして、体を向けた方向に真っ直ぐ返さなければ反則になってしまうので、より慎重で丁寧なプレーが求められる。
3. 読みの力が高まる …… 1チーム4人でプレーするので、インドアより少ない人数でディフェンスをしなければならない。相手アタッカーの打つボールコースや前後の揺さぶりを読むことにより、レシーブ力が大きく向上する。この読みの力を高めることは、インドアにも必ず生きると感じた。

今後に向けては、各県男女2チームずつの枠があるので、是非来年度以降も長野県から参加するような体制づくりをしていくべきだと感じました。ビーチ専門の選手を育成するのは現段階では難しいかもしれませんが、軸足はインドアに置きつつ、時々ビーチも行うということであれば可能になるチームもあるのではないのでしょうか。少々付会気味ですが、ビーチバレーには開放感を感じられるという魅力もあります。時々行うことで精神的にリフレッシュできるという利点もあるのではないのでしょうか。

今回の大会出場、3位入賞が起爆剤となり、ビーチバレーの普及と発展へのきっかけになることを祈っております。

尚、全ての試合が終わった後、6名の選手達の自主的な取り組みとして、海岸の清掃活動を行いました。大会本部の皆さんからもお礼の言葉を頂きました（写真参照）。

最後に、本大会参加あたり、激励の言葉をかけてくださったり、アドバイスをしてくださったりした皆様に感謝するとともに御礼を申し上げます。ありがとうございました。



第7回全日本バレーボール6人制実業団選抜男女優勝大会

標記大会を主管 ～ 女子「ルートインホテルズ」が全国初優勝！

【県実業団連盟理事長 村上里志】

去る8月4日（土）～5日（日）、松本市総合体育館において第7回全日本6人制実業団選抜男女優勝大会が開催されました。本大会はJVA主催の「全日本6人制実業団男女選手権大会」が参加チーム数減少で廃止されたことを受け、替わって日本実業団連盟が主催する新たな大会としてスタートし、今回で第7回を迎えるに至っています。



今大会は、全国より男子17チーム、女子4チームを迎え、実業団6人制バレーボールの覇権を争いました。本県からは、男子の長野GaRons、女子はルートインホテルズとセイコーエプソンの計3チームが参加しました。

昨年準優勝のルートインホテルズは、準決勝で危なげなくセイコーエプソンを退けて決勝に駒を進め、迎えた決勝でもミドルブロッカー：岸村円恵実（最優秀

選手賞）とセッター：佐々木里菜の新人コンビの躍動で、古豪の三菱UFJ銀行を破り、嬉しい初優勝を果たしました。

男子はV2の富士通カワサキレッドスピリッツが2連覇、長野GaRonsは、残念ながら下位に沈む結果となりました。

今回、長野県実業団連盟にとって初めての全国大会主管でしたが、実連加盟チーム・役員の総力を結集して大会運営が出来たことは、当連盟の将来へ大きな力となって残ることと確信しております。

最後になりましたが、本大会開催にあたりご後援・ご協賛をいただきました一般財団法人長野県バレーボール協会、松本バレーボール協会、中信バレーボール連盟等の各種団体・企業の皆様に厚く御礼を申し上げ、大会報告とさせていただきます。

有難うございました。



【ルートインホテルズ ブリリアントアリーズ 主将 西堀育実】

8月4日(土)～5日(日)に第7回全日本6人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会が本県松本市で行われました。



ルートインホテルズブリリアントアリーズは2回目の出場となりました。Vリーグへの参戦表明とともに地元長野県での開催、また創部初年度の昨年は準優勝という結果だったこともあり、目指すは優勝！の意気込みで挑みました。

新人4人を加えて戦力もアップ。攻守ともに全てが上手く回る試合展開となりました。チームの雰囲気も良く、全試合をストレートで勝利し、全勝優勝することができました。来季のVリーグ参戦にとっては、大きな勝利となりました！

長野県の女子バレーを盛り上げるべく！これからもチームワークで勝ち進めるように日々精進していきたいと思います！

第39回 北信越中学校総合競技大会 バレーボール競技

阿智中女子が同県同士の一戦を制し 小学生に続いて全国大会へ

【県中体連専門委員長 牛田佳伸】

標記大会が8月7日(火)～8日(水)、いしかわ総合スポーツセンターで開催されました。本県からは、男女各3チームが出場しました。



女子の出場校は、南箕輪村立南箕輪中学校と阿智村立阿智中学校、佐久市立臼田中学校でした。

本県3位の臼田中は新潟県1位の新潟市立中之口中学校から第1セットを取るなど善戦しましたが、1回戦で敗退しました。

同1位の南箕輪中は、石川県4位の白山市立松任中学校に快勝した後、2回戦は福井県3位の大野市立陽明中学校に1セット目を失う苦しい展開となりました。2セット目も先にマッチポイントを奪われる危ない展開になりましたが、ピンチサーバーで出場した3年生の大活躍により 30-28

の大逆転でこのセット目を奪い返すと、3セット目はその勢いのまま押し切って2日目の準決勝に進出しました。

同2位の阿智中は、1回戦の白山市立笠間中学校(石川県2位)戦、2回戦の胎内市立乙中学校(新潟県3位)戦共、序盤はミスが多く攻撃も機能せずにリードされる展開となりましたが、双子の2年生エース：岡庭のコース打ちやフェイントを軸に徐々に点差を縮め、逆転勝ちで南箕輪中と共に2日目に進出すると同時に、両校共3位以内を確定させました。

その2日目の準決勝、阿智中は福井県1位の福井工業大学附属福井中学校と、南箕輪中は福井県2位の福井市至民中学校と、共に前評判の高いチームとの対戦となりました。阿智中は相手の圧倒的な攻撃力に対して巧さで対抗しようとしたましたが、如何せんブロックが常時2枚しか無いにも拘わらず、速い攻撃も混ぜられてそのブロックも振り回され、0-2で福井中に屈しました。一方の南箕輪中も、最初のセットこそサーブで崩して奪いましたが、第2セット以降は逆にサーブで崩され、チャンスボールを

与えると高さのあるAクイック等の多彩な至民中の攻撃をディフェンスし切れず、逆転負けで決勝戦進出は成りませんでした。

北信越ブロックから全国大会に出場出来るのは3校。女子の全国大会出場決定戦は同県同士の戦いとなりました。1セット目は、長野県大会決勝の再現とも思われるような出来で南箕輪中が先取。効果的なサーブに相俟って、2年生エースの小嶋だけでなく、同じく2年のライト：成田もよく打ち、阿智中の追撃を20点に押さえ込みました。しかし2セット目に入ると、逆に阿智中が南箕輪中をサーブで崩して主導権を握り、中盤迄に12-6と大量リード。その後も強打に軟打を織り交ぜて相手ディフェンスを攪乱し、25-15でセットカウントをタイにしました。勝負の第3セット、序盤は互角でしたが、7-7から阿智中が抜け出し、10-7から13-8で給水タイム。その後は一進一退の展開でしたが、17-12から南箕輪中がフェイントを拾い始めると、一気に17-16になりました。しかし、ここで南箕輪中に痛恨のスパイクミスが出て追い付けず、逆に阿智中は20-16と引き離した後も南箕輪中の必死の追い上げをかわして、最後まで絶妙のフェイントで大きな勝利と全国大会出場権を手中にしました。

一方の男子は、中川村立中川中学校と辰野町立辰野中学校、長野市立更北中学校の3校が出場しました。本県2位の辰野中は石川県2位の白山市立光野中学校と対戦。一番の武器のサーブが不発。同3位の更北中も、新潟県1位の糸魚川市立糸魚川中学校から第2セットを奪うのが精一杯。共に1回戦敗退でした。又、1位の中川村立中川中学校は、石川県4位の羽咋市立羽咋中学校には勝利したものの、2回戦で本大会3位に入った越前市南越中学校(福井県2位)に高さで攻撃力を封じられて敗退しました。これで男子は、平成23年に小布施中が優勝、裾花中が3位となって以降、7年連続で全国大会出場チーム無しという結果になってしまいました。

全国大会は、8月21日(火)～8月24日(金)に島根県で開催されます。本県から初出場する阿智中学校の健闘をお祈りいたします。

第31回北信越小学生バレーボール大会

松本ファイターズ 準優勝 女子 小布施スポーツ少年団 3位入賞

【県小学生連盟理事長 西澤悦郎】

7月28日(土)～29日(日)、石川県金沢市いしかわ総合スポーツセンターで第31回北信越小学生バレーボール大会が開催されました。

長野県勢は男女各3チームが出場し、男子は第3代表の松本ファイターズが準優勝、女子は第1代表の小布施スポーツ少年団が3位入賞しました。

以下、各チーム代表者のコメントです。

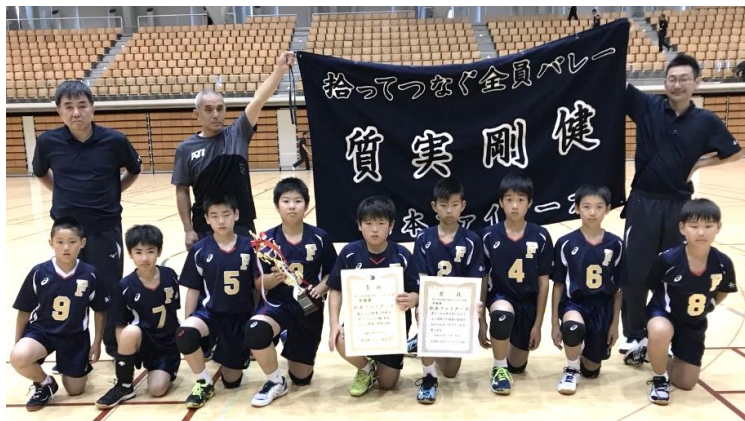
「第31回北信越小学生バレーボール大会に参加して」

【男子松本ファイターズ監督 窪田 明】

第31回北信越小学生バレーボール大会は、7月28日・29日に石川県いしかわ総合スポーツセンターにて開催されました。

7月1日(日)に開催された長野県大会の結果、岡谷jrが全国大会へ出場、北信越大会には小布施スポーツ少年団が第一代表、飯田Zキッズが第二代表、松本ファイターズが第三代表として、出場させて頂くこととなりました。

我々、松本ファイターズは、予選グループ戦にて福井の服間男子にセットカウント1-2で敗れたものの、新潟のグリーンファイターズに2-0で勝利し、決勝トーナメントに進出致しました。



翌日の決勝トーナメントでは、一回戦で石川の小松クラブを2－1、準々決勝で富山の桜井男子を2－0で破りました。準決勝の相手は、前日の予選で我々が敗れた服間男子を下した富山県の南条男子でした。接戦でしたが2－0で勝利しました。

決勝は富山の福光東部との対戦でした。疲れもあったのか0－2のストレートで敗れ、準優勝でした。ファイターズとしては、過去3回3位に入賞しておりますが、今回ひとつ上の成績

を残せたことは大変嬉しく思います。すべての試合が接戦で、自分にとっても子供たちにとっても、貴重な経験をさせて頂いたと思います。

最後になりますが、応援頂いた皆様に心より感謝致します。有難うございました。

「第31回北信越バレーボール大会を終えて」

【小布施スポーツ少年団コーチ 土屋正史】

7月28日から29日に石川県で開催された第31回北信越バレーボール大会に出場してきました。結果は、優勝した黒部キッズ(富山県)に準決勝で敗れ、3位でした。



大会を振り返ると、期間中は日々の練習で重点的に練習してきたサーブとサーブカットに大きな乱れがなかったのが良かったです。

サーブには時間をかけたことで、目的を持ったサーブが打てるようになり、サーブポイントやサーブで乱した上でのチャンスボールからの得点が多かったと思います。また、サーブ同様にサーブカットも失点が少なく、乱れても2段トスをエースが打ち抜き、連続得点はより多く、連続失点はより少なくなって、自分達の試合をすることができました。

同時に、課題も見えた大会でもありました。今年のチームはまだまだ発展途上のチームですので、現

状に満足することなく、これから課題を少しでも克服し、県内大会やスポ少県大会に向けて準備したいと思っています。

ベスト4で敗れてはしまいましたが、この暑さにも負けず、試合に臨んだ選手達に「お疲れ様！おめでとう！」と言いたいです。

私自身も、この大会を通じて、この大会でしか経験できないことがたくさんありました。この経験をこれからの指導に生かし、新しい目標に向かって日々精進していきたいと思っています。

この北信越大会開催において、当日までの準備から運営等をしていただいた北信越小連役員の皆様、そして開催地の石川県小連の役員の皆様、お疲れ様でした。そして、皆様のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

第7回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル長野県予選会を開催

(兼)第3回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル長野県予選会

(兼)平成30年度ソフトバレー・北信越ファミリー・キッズ&一般フェスティバル長野県予選会

【ソフト連盟理事長 中山芳一】

7月22日(日)に上田市城跡公園体育館・第2体育館の2会場を使用し、計39チーム、選手約230人が参加して長野県予選会を開催致しました。



←(スポレクの部)には16チームがエントリー。4チームを4ブロックに分けて予選を3試合ずつ戦い、その後、各ブロック順位別トーナメントを行いました。1位グループのトーナメント第1試合のアトム対リパティは2-1でアトムが勝ち、第2試合の南風対四天王は2-1で南風が勝ち、決勝はアトム対南風の対戦となりました。接戦でしたが、第1セットは15-12、第2セットは17-16の2-0で南風が優勝しました。

全国大会は11月30日(金)~12月2日(日)、三重県津市に於いて開催されます。南風は昨年に続いての連続出場となります。



(フリーの部)には9チームがエントリー。3チームを3ブロックに分け、その後、順位別リーグ戦を行いました。1位グループに勝ちあがったのは、VALS とスーパーセル・NONAME KRUA の3チームで、VALS が他の2チームにそれぞれ2-1で勝利し、全勝で優勝しました。

全国大会は31年2月16日(土)~17日(日)、東京都町田市に於いて開催されます。→



←北信越ファミリー&キッズ一般フェスティバル長野県予選会の(ゴールドの部)では、8チームがエントリー。4チームを2ブロックに分けてリーグ戦を行い、ブロックの順位別戦により優勝がリパティーズ、準優勝が島内クラブA、3位が伊那ドリームとなりました。



(プラチナの部)は3チームのエントリーでしたので、リーグ戦を行いました。優勝はふれんどB、準優勝がふれんどA、3位はびんずるAでした。→



←(ファミリーの部)も3チームのエントリーでしたので、こちらもリーグ戦を行いました。優勝はこまちゃんZ、準優勝がこまちゃんS、3位は楽笑でした。

北信越ファミリー&キッズ一般フェスティバルの各種別の表彰チームは10月28日に伊那市で開催の北信越大会に出場します。

U-14 の男子は VC 長野ジュニア 女子は岡谷選抜が全国へ

【大会競技委員長 関島宏至】

8月4日（土）に高森町立高森中学校体育館において第21回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会県予選会が開催されました。

U-14 女子の部では、岡谷選抜バレーボールクラブと GaRons. jr の2チームが参加し、全国大会の切符を争いました。第1セットは、ミドルの攻撃が冴えた岡谷選抜が25-16で先取しました。第2セット、GaRons. jr が意地を見せて粘りましたが、地力に勝る岡谷選抜が25-22で連取して優勝しました。



U-14 男子は4チームが参加。準決勝で大町スポーツクラブU-14をフルセットで破った Okaya YVC（以下「Okaya」）と、SANADA V.B.C を破った VC 長野ジュニア（以下「VC 長野」）の決勝戦になりました。第1セットは、先に主導権を握った VC 長野が押し切って25-20で先取しました。第2セットも、VC 長野が酒井・伊藤の両エースのスパイクで疲れの見える Okaya を引き離しにかかりました。終盤、Okaya も粘りを見せましたが、VC 長野が25-20で連取して優勝しました。

男女の優勝チームには全国大会での健闘を期待致します。



なお U-19 の部では、男子は大町スポーツクラブ U-19、女子は辰野クラブのみの参加のため、両チームを優勝とし、全国大会へ推薦しました。

今大会は、体育館内の気温が35度となるなど大変暑かったため、WT0 を8点と16点の2回取るなどこまめに給水をして行いました。また、諏訪と上伊那協会から審判を派遣していただき、滞りなく終了しましたこと、御礼申し上げます。

2018 ビーチバレー＜高校生大会＞KOMAGANE CUP

男子は渡邊・宮本ペア、女子は高山姉妹ペアが優勝！

【県ビーチ連盟理事長 三島英徳】

ビーチバレークリニック＜講習会＞とビーチバレー＜高校生大会＞KOMAGANE CUP は、7月28日（土）と29日（日）に駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場ビーチバレーコートで開催予定でしたが、台風の影響で延期し、8月26日（日）にKOMAGANE CUP のみ開催致しました。参加チームは、男子：5チーム、女子：6チームでした。

男子は、総当たりのリーグ戦形式で行いました。8月初旬に大阪で行われました第17回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会で準優勝した東海大諏訪高校3年の渡邊晃成が、中学時代に同じチームメイトだった（安曇野市立三郷中学校）大町岳陽高校3年の宮本留惟と組んで、危なげない試合展開に持ち込み、全勝で優勝しました。以下、2位・3位も東海大諏訪高校のペアでした。



女子の決勝戦は、マドンナカップ（女子ビーチバレー全国大会）でベスト 16 に入った高山姉妹ペア（南安曇農業高校）と一年生ペアの宝・水ペア（伊那北高校）の対戦となりました。高山ペアはサーブで終始攻め、危なげない試合を展開して優勝を勝ち取りました。全国大会前に比べると、全てのプレーでミスが無くなり、失点も少なくなってチームとしてレベルアップしてきているように感じました。

Nagano Volleyball Progress Plan 2018(平成 30 年度 長野県バレーボール 指導者育成事業)

小・中・高連携一貫指導研修会を開催しました

【北信連盟理事長 竹内 護】

北信バレーボール連盟では、北信地区の現状を鑑みて『小・中・高の指導者の連携を強め、互いに刺激しあい、情報交換をしあいながら指導力を図るだけでなく、将来的な一貫指導につなげていく基盤を作ることが重要』という考えを共有しています。そこで、とにかく一度合同研修会を開催しようということで8月8日（土）、各年代（小・中・高）から45名の指導者が集まりました。



男子は、長野☆ガロンズ総監督：篠崎寛氏を講師に招き長野県長野高等学校にて、NVAゴールドプランの中核となる緒方良氏の一貫指導マニュアルに基づいたスキルアップトレーニングの伝達を中心に講習して頂きました。

女子は、前都市大塩尻高校監督の岡田隆安氏を講師に長野市立長野高等学校にて、講師の豊富な体験と情報の中から、すべての年代でプレーの基盤となるフットワークやボール感覚、コート感覚の習得方法や指導者のあるべき姿・指導法について講習がありました。

両講師とも映像を有効活用しながらの講習会で、モデルとなった各年代の子ども達にとっても非常に分かりやすかったものと思われます。

また、両講師が共に強調されていたのは『バレーボールの楽しさを伝えることのできる指導者であれ』ということでした。

『厳しさ＝暴力』ではないということは勿論、ただでさえ少子化が進んでいく中で情報は氾濫し、バレーボール以外の『楽しさ』が子ども達の周囲にあふれている現状で、いかに選手を獲得していくかを考えた時、『指導者の魅力』『バレーボールの楽しさ』は、確かに重要な要素となります。

我々指導者は、『自分がされてきたようにしか指導できない』傾向にあると言われますが、緒方良氏の言葉を借りれば『自分の成功体験を押しつけられても、その人は成功したかもしれないが、教えられた選手はどうなのだろう？』ということになります。

指導する我々のあり方を見直す良い機会となりました。

『とにかく一度やってみよう』と行ってみた本研修会ですが、3つの年代が一堂に会する貴重な機会であったことや内容が良かったこともあり、参加者からは『小さな一歩だったが、大きな一歩に繋がる』『来年も是非』という声が上がりました。開催時期等については、検討の余地がありますが、何とか継続して開催できるように工夫していきたいと考えています。



Nagano Volleyball Progress Plan 2018(平成 30 年度 長野県バレーボール 指導者育成事業)

「『覚悟力』によるチーム作り」・「中学生期につけておきたい基礎技能」

【松本協会指導普及委員長 近藤 悌】

中信地区中体連及び松本協会の計画で、中信地区プログレスプランとして8月4日(土)、都市大塩尻高校女子バレーボール部監督の今井一仁先生をお招きして半日の講習会を開催致しました。56名の中学校バレーボール部指導者が集まり、前半は今井先生のお話、後半は都市大高校女子バレー部員のプレーを実際に見ながらの実技講習となりました。



前半、「覚悟力」というタイトルの資料をもとに、今井先生が4月から就任された都市大高校女子バレー部のチーム作りをどのような信念を持って始めたのかをお聞きしました。中学校での指導経験をもとに、チームの軸となる考え方や価値観を高校生にどうやって伝えていったのか、生の話を交えて語って頂きました。又、『『日本一』を目指すためには『日本一』になる資格を持てるようになることが大切』というように、『人として』の力をつけるために・・・」中学校現場でも必要となるお話で、我々が日々向かい合っている生徒達にも通じる大変興味深い内容となりました。

後半の実技講習では、毎日練習をしている構え、フットワークを細かく切り取って説明して頂く中で、基礎技能の成り立ちとその理由を分かりやすく理解することができました。日本一を目指すチームの選手達が実際にボールを触る姿を見ることで、納得のできる内容が多くあり、夏休み後半の部活指導に向けて多くの学びが得られるものとなりました。

又、4日夜は、今井先生を囲んで中信地区の懇親会を行い、たくさんの先生方がバレーボールについて語り合い、大いに刺激を得た1日となりました。



平成 30 年度 JVA-MRS 登録

県協会役員の皆様へ登録のお願い

【県協会事務局】

理事・監事及び各団体の代表者の皆様にはメールでご依頼申し上げていますが、理事・監事・オブザーバー・評議員、各委員会役員、各連盟役員、13地区協会役員の皆様はJVA-IDの取得をお願いします。JVA-ID申請書の提出により、役員の委嘱設定を行います。未提出の方はお早めにご連絡をお願いいたします。

平成最後の年の長野県中学男女選抜チームの陣容が決定！

【県強化委員 木下久資】

8月25日（土）～26日（日）、安曇野市立三郷中学校をメイン会場に平成30年度の長野県中学選チームの選手を決定する最終選考会が開催されました。この選考会には、7月の県大会（第3次選考会）で選出された男子：25名、女子22名が参加。2日間の体格・体力測定、実戦形式のスキルテストや面接等を経て、以下の男女各12名が最終的に選出されました。又、併せてスタッフも正式決定しました。

尚、実戦形式のテストを通して、男子は新崎光季君（小布施町立小布施中～セッター）が、女子は西澤望未さん（佐久市立臼田中～ユーティリティプレイヤー）がM I P賞に輝きました。

選手達は、9月1日（土）に行われる結団式後、毎週土日だけでなく平日にも練習を重ね、12月下旬に大阪市で行われるJOCジュニアオリンピックカップ第32回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に臨むことになります。中学生の大会ではありますが、ネットの高さ、ボールの大きさ共にオリンピックと同じ。従いまして、主な練習相手は県内有力高校や他県選抜チームとなります。明日の長野県バレーボール界を担う選手達に熱い御声援をお願い致します。

更に、1日目に並行して行われた2年生以下の有望選手による強化練習会には、県下各中学校から選抜された男女約110名が参加。男子は4地区の各選抜チームによるリーグ戦を、女子は技術講習・指導の後に地区の枠を外した4チームを作り、対抗戦を行いました。強化委員会としては、選抜された生徒達のスキルや精神面の向上は勿論ですが、併せてこれらの選手を通じて各チームの、ひいては県全体のレベルアップを図って行きたいと考えております。

団 長	牛田 佳伸（松本市立丸ノ内中学校）	副団長	吉川 豊（松本市立梓川中学校）
-----	-------------------	-----	-----------------

【男子スタッフ】

【女子スタッフ】

池田 真悟	伊那市立春富中学校	監 督	安藤 利長	千曲市立戸倉上山田中学校
堀内 英司	下諏訪町立下諏訪中学校	コーチ	末益 正順	安曇野市立三郷中学校
北澤 憲太	N T Tテレコン(株)	マネージャー	松村 遥	上田市立第二中学校
		アシスタントコーチ	堀川 博美	塩尻市立丘中学校

【男 子 選 手】

【女 子 選 手】

No.	氏 名	学 校	学 年
①	石坂 朋也	長野市立広徳中学校	3
2	持田 奏真	長野市立柳町中学校	3
3	小島 伊織	長野市立篠ノ井西中学校	3
4	村田 翔太	伊那市立東部中学校	3
5	濱 照瑛	岡谷市立岡谷北部中学校	3
6	吉沢 瑛斗	小布施町立小布施中学校	3
7	宮島 大和	長野市立更北中学校	3
8	水原 洸大	中川村立中川中学校	3
9	大森 拓洋	辰野町立辰野中学校	3
10	水野 永登	中川村立中川中学校	3
11	宮澤 愛翔	中川村立中川中学校	3
12	新崎 光季	小布施町立小布施中学校	3

No.	氏 名	学 校	学 年
①	藤澤 歩夢	茅野市立東部中学校	3
2	黒岩 瑤	松本市立清水中学校	3
3	北村 莉来	長野市立広徳中学校	3
4	宮下 晴名	塩尻市立丘中学校	3
5	北原 彩夏	茅野市立永明中学校	3
6	伴野 未祐	佐久市立野沢中学校	3
7	山岡 礼那	岡谷市立岡谷南部中学校	3
8	片岡明日海	上田市立塩田中学校	3
9	百瀬 美幸	安曇野市立堀金中学校	3
10	荻原 風紗	中野市立中野平中学校	3
11	西澤 望未	佐久市立臼田中学校	3
12	田邊 優奈	塩尻市立丘中学校	3

8月 試合結果

☆	第45回全国高等学校総合体育大会バレーボール競技女子	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.26_8.1_koko_sotai.pdf
☆	第17回全日本ビーチバレージュニア男子ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.3_8.9beach_junior.pdf
☆	第21回全国ヤングクラブ男女優勝大会長野県予選会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.4youngclub.pdf
☆	第7回全日本6人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.4_6jitsu.pdf
☆	第39回北信越中学校総合競技大会バレーボール競技	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.7tyugaku_hokusinetsu.pdf
☆	第30回 全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.7beach_daigaku.pdf
☆	第38回全日本バレーボール小学生大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.7syogakusei_zenkoku.pdf
☆	第38回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.26_8.10_9club.pdf
☆	第9回全国中学生ビーチバレー大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.12beach_tyugakusei.pdf
☆	第29回全日本ビーチバレー女子選手権大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.16beach_w.pdf
☆	第38回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.26_8.17_6club.pdf
☆	第48回全日本中学校バレーボール選手権大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.21tyuugaku_zenkoku.pdf
☆	第39回北信越国民体育大会バレーボール競技（インドア）	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.24hkokutai_hokusinetsu.pdf
☆	第49回全国ママさんバレーボール大会	http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.8.3mamasan.pdf

9月 スケジュール

1.	9/1（土）	JOC ジュニアオリンピック長野県中学選抜選手団結団式	（松本市）
2.	9/1（土）～2（日）	第9回全国6人制バレーボール北信越地域リーグ大会	（富山県）
3.	9/2（日）	第17回デサント杯北信越クラブ男女優勝大会県予選会	（大町市）
4.	9/4（火）	長野県体育協会 第2回総務専門委員会	（長野市）
5.	9/8（土）～11（火）	第73回国民体育大会（ビーチ）	（福井県）
6.	9/9（日）	全日本9人制総合男子女子選手権大会県予選会	（池田町）
7.	9/14（金）～16（日）	第24回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 北信越第一次予選会	（松本市）
8.	9/15（土）～18（火）	第18回スポーツマスターズ2018	（北海道）
9.	9/22（土）～23（日）	第21回全国ヤングクラブ優勝大会	（大阪府）
10.	9/23（日）	第6回北信越ビーチバレー選手権大会	（長野県）
11.	〃	第29回長野県ソフトバレーフェスティバル	（長野市）
12.	9/30（日）	第8回全国ママさんバレーボール冬季大会	（安曇野市）